

南仏治安情報 (2012年9月)

■プロヴァンス地方

1. ガソリンスタンドでのスキミング事件発生

マルセイユ市 La Timone (10区) 地区周辺のガソリンスタンドで、給油機を狙ったクレジットカードのスキミング事件が報告されています。犯人は機械が数分間カード情報を保存することを悪用し、客がカードを使用して給油した直後を狙って「YES Card」と呼ばれる記録用カードを挿入し、カード情報をスキミングして偽造カードを作成していました。2007年には同様の手口でガソリンスタンドの利用者を狙って約2千人分のカード情報を盗んだ犯人が逮捕されています。

2. 夜間の女性の一人歩きに注意

9月中旬、マルセイユ市 Les Arnavaux (14区) 地区で、友人を家まで送り駐車場に向って歩いていた70代の女性が、後をつけてきた男に襲われ鞆を奪われた上わいせつ行為を強要されそうになりました。また、La Joliette (2区) 地区でも20代の女性が路上で男に襲われそうになりました。両事件とも、深夜3時ころ発生し、女性の叫び声を聞きつけた周辺住民が通報し男は取り押さえられました。

3. ロマ人問題

9月27日夜、マルセイユ市 St-Louis (15区) 地区の住民が、集合住宅そばの空き地を数日前から占拠していた移動生活者ロマ人約40人の家財道具等を焼き払いました。周辺地区では空き巣の被害が目立ち始めており、危惧した周辺住民がロマ人に対し避難を促した後、残された家財道具や荷物等に火をつけ立ち退きを強制しました。

4. 素行不良者間の対立が原因と思われる焼死体の発見

マルセイユ市北部に隣接するSeptèmes-les-Vallonsで、9月上旬廃墟の中から男性が焼死体で発見されました。男性は射殺された後遺体を燃やされており、警察は被害者が素行不良者のグループ間抗争に巻き込まれたものとみて捜査しています。今年に入ってからグループ間抗争での犠牲者は20人に上っています。

■コートダジュール地方・コルシカ島

1. スリ被害の大幅な増加

アルプ・マリタイム県の夏季犯罪統計によると、今夏(7、8月)の犯罪種別発生件数は次のとおりです。大幅に増加した罪種はスリで、バカンス客の増加、東ヨーロッパからの移民の増加、同県へ保安機動隊の派遣が前年に比べ3分の1に減少したこと等により、前年同時期に比べ54%の増加になりました。また、暴力を伴った窃盗事件も23%増加しました。反対に、空き巣はMenton、Grasse、Cagne-sur-Merの町では地域住民が見張りを徹底して行った結果被害が減少しました。

2. 警察官に対する暴力事件の増加

ニース市で交通取り締まりを行っていた警察官が、停止要求を拒否したスクーターの男にヘルメットで殴られ、鼻と手を負傷しました。また、アンチーブ市でも路上で大麻を吸引していた若者グループに職務質問を行っていた警察官が、窃盗の容疑で指名手配中の男から蹴られ指を負傷しました。近年警察官に対する暴力事件が目立って報告されており、犯罪の凶悪化が進んでいます。

3. アルプ・ドゥ・オート・プロヴァンス県で地震発生

9月16日20時56分 Manosque北西のVilleneuveでマグニチュード3.3の地震が観測されました。震源はLa Durance川付近地下5kmの地点になっており、同県でのマグニチュード3を超える地震は今年に入ってから8回目になります。

4. コルシカ島フランス系商業施設を狙った爆破事件

コルシカ民族解放戦線 (FLNC) は、9月9日から10日にかけて発生した連続7件のフランス系商業施設 (Leclerc、Géant-Casino、Decathlon) に対する爆破事件について犯行声明を出しました。フランス本土資本企業の島への進出により、コルシカ島民は島内の産業の発展が妨げられるとして、進出を望んでいないことを表明しています。この爆破により店舗のシャッターやショーウィンドー等が破損しましたが、けが人は出ていません。

■ミディ・ピレネー地方

1. ヒッチハイカーによるカージャッキング

トゥールーズ外環道路で、自動車を運転していた学生が同乗させたヒッチハイカーに襲われる事件が発生しました。犯人は市内の降車希望地付近で拳銃により学生を脅し、催涙ガスを使い車外に追い出した後車を奪って逃走しました。逃走を阻止しようとした被害者は自動車にしがみつき数メートル引きずられ軽傷を負いました。

2. 走行中の自動車への空気銃による発砲

夜間にトゥールーズ市 Parc de la Mounède付近を走行していた自動車を狙い、何者かが空気銃を発砲しました。運転手の男性が後部座席に娘と孫を乗せ走行中、車に何か当たった音を聞いたと同時にリアガラスが割れたため確認しようと引き返したところ、空気銃を乱射され、男性が首に軽傷を負った他自動車のフロントドアガラス、リアガラス等を大破する被害を受けました。警察は同地域での警戒を強めています。

3. 偽造カード使用によりルーマニア人を逮捕

モンペリエ市警察は長期間に亘る捜査の末、スキミングにより偽造されたカードを使用し60万ユーロ相当を詐取したとして、犯行グループの中心メンバーであったSète在住のルーマニア人2人を逮捕しました。2人は経営難に陥っていた複数の販売業者と共謀し、アメリカ、カナダ、韓国等の銀行口座情報が入った約千ものカードを使用し、同販売店で商品を購入すると見せかけ代金を詐取していました。

4. パイロットを狙ったレーザーポインターの照射

着陸準備態勢にあった飛行機のパイロットに向けレーザーポインターを照射したとして、トゥールーズ市Grande Selve地区居住の13歳の男児が逮捕されました。使用されたレーザーは高出力のもので、万一、眼部の虹彩に当たった場合は失明させる危険性があり、人または航空機へ向けて照射することは強く禁じられています。Toulouse-Blagnac空港付近では同様のいたずらが数年前より繰り返し発生しており、飛行機の運航の妨げにもなる為問題視されています。